



専門学校の学びの特徴

一般的な専門学校の特徴を、専門学校の先生方や卒業生の意見を中心にまとめました。目をおして、学校生活をイメージしてみてください。

01 実践的な実習・演習により、プロフェッショナルとしての知識・技能が身に付く

- 多くの学校では企業などと連携した実習・演習が行われています。また、国家資格などの取得を目的とする学校では、資格取得のカリキュラムに応じた長期の実習・演習が組み込まれていることが多いです。各学校においてインターンシップ、現場体験実習やデュアル教育※1といった実習・演習を通じたカリキュラムによって、プロフェッショナルとしての知識・技能を習得することができます。

※1「デュアル教育」とは、学校における学習と、企業・団体等の現場における実践の二つの連携により学生がより実践的な学びを得ることができる仕組みです。インターンシップとは異なり、教育プログラムとして現場と学校を行き来しつつ、連携して学生を育てます。



例えば、日本児童教育専門学校では、保育士の資格取得において義務付けられている保育実習に加え、学生の保育に対するイメージと実際の保育現場との乖離を防ぐための実習を1年次から実施。仕事内容ややりがいを理解し、資格取得だけでなく、就職までつなげることを目指しています。

02 コンテストへの参加等を通じ、企業などから高い評価を得ている

- 専門学校の在校生は、技能検定の受検や外部のコンテスト・展示会への参加を通じて、自らの知識や技能の修得レベルを確認することができます。中には、社会人とともに技能五輪国際大会※2のような国際大会に出場する在校生がいるなど、高い技能を身に付けている人もいます。
- また、学生時代に高度な資格を取得することについて、企業からの高い評価を得ている学校もあります。



「本校では、就職してから取得すると5~7年程度の経験が必要な資格を在学中に取得させています」



※2 技能五輪国際大会とは、2年に1回開催される国際的な技能競技大会です。日本代表選手の選考は、技能五輪全国大会において行われ、22歳以下である優勝者（成績優秀者）が日本代表として選出されます。

03 同じ職を目指す仲間と出会える

- 専門学校の同級生は、同じ職業を目指す仲間であり、先生方はその道の先輩でもあります。同じ志向の仲間が身近にすることで、好きなことを仕事にするために学び、よりよい進路を選択するための環境が整っています。



「専門学校で、一生付き合っていける仲間と出会えた」「専門学校の先生に紹介してもらった方のもと、今も働いています」

- また、各学校では研修旅行や成果報告などの行事も工夫され、卒業後も記憶に残る経験となっているようです。



04 きめ細かな教育・支援の体制がある

- 専門学校は、生活面、学習面の指導がきめ細かく、高校までと同様に学級制や担任制をとる学校も多いです。



「先生と生徒の距離が近く、相談に乗ってくれた」

- 各学校では、資格の取得や知識・技能の習得に向けて、授業ごとの小テストや放課後の補習などを工夫し、学修成果を担保しています。例えば、東京工科自動車大学校・東京テクニカルカレッジでは、授業ごとに授業シートを生徒に配布し、わかる授業を実現しています。

授業シート

この科目で学ぶ内容

今日の授業で学ぶ内容を10項目に細分化

使用する教材(オリジナルサブテキストなど)

授業に対する先生からのメッセージ

授業カルテ

授業シートの10項目に沿った内容

その場ですぐに答え合わせ

解答・解説も配布

(出典) 東京工科自動車大学校・東京テクニカルカレッジホームページ

05 自立した社会人になるための基礎を習得できる

- 専門学校卒業後の就職を見据えて、基本的な生活習慣に関する指導、学習習慣の習得に向けた指導が充実しています。例えば、あいさつや遅刻・欠席時の指導の徹底などを通じて、社会人としての基礎を確実に身に付けることができます。



「専門学校に入って好きなことを勉強するために、学習習慣が身に付いた。このことが、就職後のスキルアップにも役立っています」



専門学校はどうやって選べばいいの？

目指す職業のために専門学校に行こう!と決めたときに、気になるのは学校選びです。たくさんある専門学校の中からどの学校を選べばよいのでしょうか？

まずは自分で学校を調べてみましょう。

インターネット上や紙での冊子など、専門学校に関する情報はたくさんあります。「自分で調べて学校を探す」という作業に必ず取り組んでください。調べたうえで、家族や友人、学校の先生などの相談しやすい人に相談してみるのもよいと思います。文字や写真の情報だけでは不十分なので、オープンキャンパスにもぜひ参加しましょう。現在専門学校で学んでいる先輩の生の声が聞けます。

学校を選ぶ際には、就職実績や資格取得状況、授業内容などの情報を見る方が多いかと思いますが、その他に現場体験の場である実習の内容や学校に設置されている設備や機械の紹介から学びの環境を知ることができます。また、進学や生活に関する支援として、学費について独自の支援制度を設けているところがあります。日々の学校生活、学びの内容、将来の就職先などさまざまな視点から自分で情報を入手して進学先を検討してください。学校を自分で調べて考える作業は、自分の未来を考える作業です。楽しい専門学校生活と輝くプロフェッショナルのキャリアがあなたを待っています。